



佐々木中学校だより

E-mail sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp

電話 0254 (27) 2505

希望を胸に ベストを尽くせ!

ご卒業おめでとうございます。卒業生のみなさんの今日の晴れやかな姿と、少し緊張した表情を目にすると、感慨も新たになります。

今年度は「防災学習」や「がん教育」にも取り組んだ一年でした。7月の「防災学習」では、避難所運営の仕方を模擬体験しました。佐々木地区防災組織のみなさんを交えてのグループでの話し合いでは、3年生がリーダーとして模擬体験を進めてくれました。12月の「がん教育」公開授業でも、下越地域の多くの学校からの参観者の前で、普段どおりに、少しも緊張した様子も見せずに、真剣に授業に取り組み、自分の考えを進んで発表する意欲に溢れていました。そんな中学生活の日々も、今日を境に、一段も二段も高い、新たなステージへと進むこととなります。

さて、みなさんは、iPS細胞を発見した功績などからノーベル賞を受賞した、日本の研究者の山中伸弥さんを知っていると思います。山中伸弥さんは、高校では柔道部に、大学ではラグビー部に所属して、学業と部活動の両立に励み、ノーベル賞受賞につながる研究に取り組みながら、フルマラソンにも挑戦するという、まさに「文武両道」を実践する方です。ある対談で、「若いひとたちへのメッセージ」を求められた山中伸弥さんは、次のように答えています。

「15歳からの10年間は、何にも代えられない宝物のような時間です。この時間に何をやったら「正解」ということは全然ありません。どんなことでもいいから、「あの時はこんなことに夢中になっていたな」という体験があったなら、それが上手く行こうが行くまいが、絶対に自分自身の成長につながっていきます。学生時代のどんな失敗も絶対に無駄になりません。これからの10年間の経験は、みなさんの人生の宝物、財産になります。大学時代には、周りから「お前は医学部じゃなくて、ラグビー部だ」と言われましたが、ラグビーを通して身に付けてきた体力は裏切りません。今、十代のみなさんは、ぜひ、何でもいいから、何か打ち込めるものを見つけてください。」

新たな、広い世界へと羽ばたいていく皆さんには、未知の世界へ第一歩を踏み出すにあたって不安な気持ちもあるでしょう。ですが、山中伸弥さんが言う、「こんなことに夢中になっていた」という体験を持つ」という言葉を励みにして、これからも、何事にも積極的にチャレンジするという精神で歩いていってください。

5月からの、「平成」の次の新しい元号の時代は、みなさんが主役となる数十年となることでしょう。10年後の2030年頃には、みなさんが、自分の実力を発揮できる「大舞台」に立ち、思う存分の活躍をしているに違いありません。将来に向けて、今は、実力を培う時期です。これからも、健康を大切に、実力を高めて行ってください。

保護者の皆さまからは、これまで、いつも佐々木中学校の教育活動に温かなご理解とご支援をいただいていた。ありがとうございました。

卒業生のみなさん。いよいよお別れです。毎月の生徒朝会で、全員が声を合わせて歌った「生徒会歌」の歌詞を借りて、27名の卒業生のみなさんへの「はなむけ」の言葉といたします。

「新たな世界へと飛び立つみなさん、**希望を胸に ベストを尽くせ!**」

平成31年3月8日 新発田市立佐々木中学校長



どんな壁も乗り越えていけると信じています

送辞

在校生代表 2年 K

本日、佐々木中学校を卒業される皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんにとってこの佐々木中学校で過ごした3年間はどのような時間でしたか。きっと、楽しかったこと悔しかったことなど、たくさんの思い出があると思います。汗を流し、全力で応援した体育祭。感動を届けようと体育館に声を響かせた合唱コンクール。全校で一緒に盛り上がった佐中フェスティバル。私たち在校生は皆さんとのかけがえのない思い出がたくさんできました。いつも皆さんは、私たちの先頭に立ち、盛り上げ引っ張ってくれました。



特に、合唱コンクールでは、圧巻の合唱を届けてくださいました。皆さんが歌ったクラス合唱「虹」は今でも忘れません。歌声、指揮、伴奏、その全てから自分たちの思いを届けようという気迫を感じました。その裏には、たくさんの努力があったと思います。また、全校合唱では私たち在校生に大きな安心感を与えてくれました。練習のときはなかなか声がでなかったり、音がとれなかったりする私たちを優しくリードしてくださいました。

明日から皆さんがいないと思うと、不安でいっぱいです。しかし、先日行われた、集団行動「巴」の引継ぎで、皆さんは私たち在校生が披露した巴をととてもほめてくださり、大きな自信になりました。集団行動を通して、これからは私たちが佐々木中学校をリードしていくのだという自覚をいっそうもつことができました。今まで、皆さんが私たちに大きな力を与えてくれたように、今度は私たちが新しく入ってくる1年生に力を与えられるような先輩になるよう頑張ります。

今の皆さんは、新しい生活への希望と不安で胸がいっぱいだと思います。この先、困難に直面することがあるかもしれません。しかし、今まで様々な困難に立ち向かい乗り越えてきた皆さんなら、きっとどんな壁も乗り越えていけると信じています。私たち在校生一同、みんなで応援しています。

最後に、これから卒業生の皆さんの歩まれる道が明るく楽しく、笑顔であふれるものとなることを心よりお祈りして、送辞といたします。



一生懸命にやることはカッコいい

答辞

卒業生代表 3年 S

今日、私たち27名は佐々木中学校を卒業します。中学校での3年間、私たちは仲間と共にたくさんの思い出を作りました。入学したばかりの頃は、先輩方の行動の速さ、きびきびとした動きに驚かされました。そして、そんな先輩方のような中学生になりたいという希望を持ちました。二年生になると、後輩の見本にならなければという思いが私たちを成長させてくれました。三年生になると、学校や委員会活動でのリーダーとなり、後輩への部活動の指導や「巴」をはじめ様々なことを教える立場となりました。



なかでも思い出深いのが体育祭です。全員が、最後までひたむきに、あきらめない姿勢で取り組みました。午後からは、大雨になってしまいましたが、両軍が練習以上の実力を出して戦い、笑顔と涙のあふれたすばらしい体育祭になりました。合唱コンクールでは、クラス一丸となって全校をリードできるように取り組み、聴いている方々に感動を届けることができました。今、ここにいる3年生は小学校から一緒に、お互いを理解し合っている大切な友人です。全員が希望を持って、未来に向かって進んでいけると思います。別れることはつらいですが、それぞれ自分で決めた道を信じて、勇気をもって歩いていきましょう。

在校生のみなさん、これから佐々木中学校をさらに発展させてください。生徒会や「巴」の引き継ぎ式で見せてくれた1・2年生の決意を信じています。

「一生懸命にやることはカッコいい」

何事にもひたむきに取り組む姿勢をきちんと出せるクラスであり、佐々木中学校だったと思います。佐々木中学校の生徒であったことを誇りに思い、ここで学んだことを高校生活や将来に活かしていきます。

最後に、母校・佐々木中学校のますますのご発展をお祈り申し上げ、答辞といたします。



卒業記念合唱 「証」(あかし)

卒業生代表の言葉

卒業式の最後には、卒業生全員が「証」を歌いました。歌の披露の前には、卒業生を代表して、SKさんとSCさんからメッセージが伝えられました。

卒業生代表 SK 私たちが歌う「証」という曲は、別れることの寂しさや切なさ、それを乗り越え、未来へ歩き出す曲です。私たちはこの9年間、当たり前のことを積み重ね、当たり前のように隣にいました。そしていつもそのぬくもりに支えられてきました。でも、その日々もう今日までです。私たちはこれから新しい日々で、広い世界へ旅立ちます。もう会うこともできなくなるかもしれません。しかし、私たちの絆が無くなるわけではありません。

卒業生代表 SC 私たちが積み重ねてきた一日一日が、絆が、私たちの確かな「証」です。その証が心の中にあるかぎり、私たちのつながりが切れてしまうことはないでしょう。時にぶつかり合い、その度にお互いを知って、笑い合ってきた、かけがえのない仲間たち。私たちと一緒に過ごしてくれてくれた一年生、二年生、そして私たちをずっと見守り支えてくれたお父さん、お母さん、先生方に、心からの「ありがとう」の気持ちをこめて、歌います。



在校生合唱 「さよならは言わないで」

卒業生による卒業記念合唱の前に、在校生全員で卒業生に向けて「さよならは言わないで」を歌いました。各学年を代表してNTさんとNKさんが、感謝の言葉を述べました。

笑顔で活気あふれる学校を作ります 2年 NT

卒業生のみなさんからの言葉で、私たちは「頑張ろう」と思うことができました。時には厳しく言っていただいたこともありましたが、それは、みなさんが、佐々木中や私たち後輩を思っているからこそ、厳しい言葉をかけてくださったのだと感じています。私は全校のリーダーとしてお手本になれるように努力し、卒業生のみなさんに負けないくらい「笑顔で活気あふれる学校」を作っていきたいと思います。

みなさんに教わったことを大切に、引き継いでいきます 1年 NK

来年度も、卒業生のみなさんに教わったことを大切に、確実に後輩に引き継いでいけるようにしたいです。卒業生のみなさんはこれから、新たな生活への一歩を踏み出します。「Step to the Future ～想像をカタチに～」という生徒会スローガンをこれからも心の拠り所(よりどころ)として、ご活躍してください。



在校生合唱の指揮者を務めて 2年 IN

在校生の歌声は、練習の時以上に「歌」に気持ちがこもっていて圧巻の歌声でした。その歌声に負けないくらい僕もしっかりと指揮ができていたか不安でした。式後にいろんな人に「がんばったね」「上手だったよ」と誉められて、嬉しかったです。

「巴の引き継ぎ式」と「卒業コンサート」

2月26日(火)午後、各クラスで「道徳授業公開」、その後の体育館での「集団行動「巴」の引き継ぎ式」、そして「卒業コンサート」を行いました。卒業コンサートでは、吹奏楽部による2曲の演奏や教職員有志による演奏を、3月8日に卒業式を迎える3年生たちから楽しんでもらうことができました。



保護者や地域の方々

2年生・1年生による「集団行動 巴」をリードし、指示を出すのは、新応援団長のMMさんです。応援団長の宮下さんは、大きな声で号令を出すだけでなく、号令に合わせて太鼓を叩く役割も務めることとなり、一人二役をこなしながら生徒の動きを統率しています。

自分に自信をもてた「巴 引き継ぎ式」 新応援団長 2年 M M

「引き継ぎ式」はとても緊張しました。しっかり引き継げるか、しっかり号令を間違えずに言えるか、しっかり左足でかけられるかと心の中でチェックしました。3年生や保護者の方々が観ていると思うと足が震えてしまいました。



「巴」が始まり、センターにいるRさんと目が合い、深呼吸を一回したら、心の中に何かメラメラ来るものがあり、何も考えずに「左足」とだけ考えたら、そこから後は、最後まであっという間でした。3年生のSYさんとNAさんが、「引き継ぎ式」の感想について話してくれた中で、2年生1年生による「巴」を誉めてもらったので、安心感があふれました。友だちにも「すごかった!」と言ってもらい、とてもうれしくて、自分に自信を持てた一日となりました。私を支えてくれたみなさんに感謝しています。ありがとうございました。



参観者の保護者の方から次のような感想をいただきました。ありがとうございました。

「道徳の授業を参観しました。一人一人が自分の考えをしっかりと伝えていて、また、友達の意見にもうなずきながら聞く姿を見て、頼もしく感じました。あたたかい雰囲気にも包まれ、とてもすばらしいクラスです。集団行動「巴」もきびきびした動き、力強い校歌。3年生にもほめられ、大変よかったです。卒業コンサートでもすてきなパフォーマンスを見ることができ、とても楽しい時間でした。」



「巴」の引き継ぎ式



吹奏楽部の演奏をやり遂げて

吹奏楽部 2年 渡邊 太陽 演奏した2曲とも全体的にはよく出来たと思います。1年生のメンバーもよくがんばってくれて、頼りになりました。

吹奏楽部 2年 渡辺 梨瑚 演奏を自己採点すると50点くらいです。しっかりと一音一音奏ることができませんでした。この反省点をしっかり練習して、新入生歓迎会では100点の演奏に近づきたいです。

吹奏楽部 1年 江川 大地 2曲を吹奏楽部で一生懸命に演奏しました。一曲目の **HANABI** の方が、演奏がむずしかったです。演奏の出来は80点くらいでした。3年生が僕たちの演奏を喜んで聴いてくれているように見えて、とても嬉しかったです。今は、4月の新入生歓迎会に向けて、「**Joyful**」を練習しています。演奏の完成度が高くなるように練習を頑張ります。



吹奏楽部 1年 中野 有貴 僕は、「グロッケン」という楽器を担当しています。一曲目の出だしのイントロのところは、僕が演奏するグロッケンの担当のところだったので、曲の最初の所の演奏がとても緊張しました。顧問の S 先生からも、音がしっかりと鳴り響く方のスティックを使うようにと教えていただきました。自分の演奏に集中して頑張りましたが、自分の演奏がないところでは、3年生が吹奏楽部の演奏を楽しそうに聴いてくれている表情を見ることができました。練習してきた成果を発揮できてよかったです。

吹奏楽部 1年 春山 奈菜 卒業コンサートでの自分の演奏は60点くらいの出来でした。両方の曲が難しく、いっぱい間違えてしまったと思いました。4月には新入生歓迎会があり、吹奏楽部は「**Joyful**」を演奏します。新入生に楽しんで聴いてもらえるように、楽しく演奏したいです。



先生方によるパフォーマンス

平成30年度「体育文化後援会」表彰

3月5日（火）に、佐々木中学校体育文化後援会表彰式が開催されました。平成30年度一年間に、体育的・文化的な活動において「県大会程度」以上の大活躍をし、功績を収めた生徒に向けて、体育文化後援会のA副会長さんから、その榮譽を讃えたメダルが授与されました。今年度は、3年生6名、2年生11名の17名の活躍が表彰されました。



今年度の「体育文化後援会表彰」を受賞した生徒は次の17名です。

3年生	IK、IT、SY、IA、IS、SR
2年生	IK、OT、SM、YK、YH、 IM、KR、KM、TH、MM、NR

受賞の喜びの言葉

2年 NR（他2名と共に受賞しました）

「30年度自作映像・視聴覚教材コンクール（県立生涯学習推進センター主催事業）」優秀賞受賞

県立生涯学習推進センターの方から、コンクールの表彰式で、実際にプレゼンをしてもらいたいと依頼され、前日に3人で練習をしました。11月にイクネスしばたで発表して以来、久しぶりのプレゼンだったので、どうなるか心配でしたが、会場の方からたくさんの拍手をいただき、安心しました。私は、今回の「自作映像・視聴覚教材コンクール」で優秀賞を受けたプレゼンの製作と発表の体験を通して、周りを見て



考える力、人前で発言する力が付いたと思うので、今回身に付いた力を、今後も活かしていきたいです。今回、「自作映像コンクール」での優秀賞受賞により、「体育文化後援会」からメダルをいただくことができました。これを励みにして、来年度も、体育的活動にも文化的活動にも自信をもって取り組み、自分の力を伸ばしていきたいです。

3月14日に県立生涯学習推進センターで表彰式が行われました。

今年も、「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」に2編が入選しました

昨年度も応募し、3年生(当時 2年生)の YR さんが「最優秀賞」を獲得するという快挙を成し遂げた「斎藤茂吉ジュニア短歌コンクール」で、今年度も2名が入選を果たしました。おめでとう。

真つ暗な部活終わりの帰り道

車のライトが私を照らす

創作した時の気持ち

冬期間は、部活動が終わって家に帰ろうとする頃には外は真つ暗です。そんな帰り道で車とすれ違くと、車のヘッドライトに私が照らされます。日が暮れてすっかり暗くなった道を早く家に帰り着きたいと思いながら、一人で歩いている少し心細い気持ちと、ライトに照らされたことで運転手から自分の存在を確認してもらえたという安心感との二つが混ざったような心を短歌にしてみました。

入選 一年 K A

入選 一年 S K

白新線 いつもの場所で いなほ撮る

みんなは知らない 僕だけの場所

創作した時の気持ち

僕は休日になると時々、近所の踏切に白新線の特急「いなほ」の写真を撮りに行きます。その場所はあまり知られていないのですが、そこはとてつもない写真を撮ることが出来ます。その場所で写真を撮っている時に、ふと「ここは、みんなは知らない僕だけの場所だな」と思い、それを短歌にしました。この短歌が入選したと聞いた時は、とても嬉しく思いました。またこの場所でのいい写真を撮りたいです。

今年度も生徒の作品が、新潟日報に掲載されました

電話ボックス周辺にも、新聞に掲載された生徒の作品がいっぱい！



新潟日報 1月13日発行号

歌声とピアノが響くそれだけで人は自然と幸せになる

(中3・新発田市)

無計画な自分を変えたい

新発田市

(15)

中学生

私が中学生でいられる時間は、もう数えるほどしか残っていない。だどいうのにも私には、卒業というものが想像できない。友達が卒業式で泣く泣かないうの話をしている時、高校で友達ができるだろうかという話している時、私は正直なところよくわからなくて適当だ。だが次は、本当に卒業なのか。級友は皆バラバラに卒業したくない。

当なことを言っていた。小学校から中学校はほぼ持ち上がりで、クラス替えもなく、9年間同じメンバーで過ごしてきた。生来の執着心の強さから、何かを卒業できたためか、怠け性からかもしれないが、小さな悪癖一つやめたい。だが次は、本当に卒業なのか。級友は皆バラバラに卒業したくない。

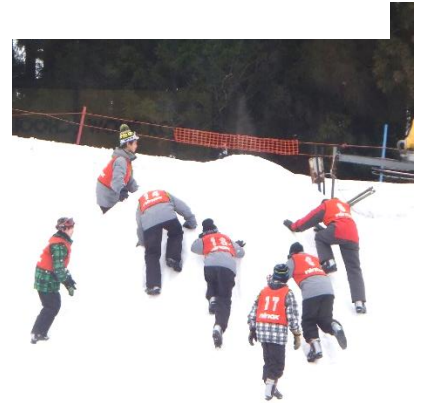
なる。もう皆に甘えてなどいられないから、今のままの私ではいられない。卒業、しなければならぬのだ。中学校も仲間もそうだが、なにより「現状の私」から。私は宣言する。怠け者で無計画、人に甘えてばかりいる私から卒業していくと。いまだに卒業に具体的なイメージはもてないが、きちんと全部「卒業」していこうと思う。

ただ、仲間からはあまり卒業したくない。

新潟日報 2月22日発行号

中学生生活を通じて、一年生も大きく成長しました

2月27日(水) 快晴の下でスキー授業を楽しみました



3月12日(火) 一人一人が、総合学習で取り組んだ「上級学校調べ」について発表しました



2月26日(火) 巴の引き継ぎ式でのパフォーマンスは3年生にも誉めてもらえました

2年生の3月の学校生活も充実していました



3月15日 修学旅行に向けて「お米」の学習



3月1日 サプライズで「三年生を送る会」を開催



3月13日 クラスみんなで「お楽しみ会」



平成31年度 1学期の主な行事予定

月	日	曜	主な予定	月	日	曜	主な予定	月	日	曜	主な予定	月	日	曜	主な予定
4	5	金	始業式・入学式	5	7	火	全校朝会 スマイルアンケート	6	3	月	全校朝会 スマイルアンケート	7	1	月	全校朝会 スマイルアンケート
4	8	月	生徒会入会式 スマイルアンケート	5	8	水	交通安全教室	6	3	月	部活動停止期間 (~10日)	7	3	水	激励会
4	9	火	春の交通安全立哨指導 (~10日)	5	9	木	教育相談週間 尿検査①	6	7	金	眼科検診	7	5	金	通信陸上大会(~6日)
4	15	月	発育測定	5	13	月	交通安全運動(~14日) 口腔検診	6	10	月	期末テスト 避難訓練	7	8	月	地域懇談会
4	16	火	NRT(国・数・英)	5	15	水	耳鼻科検診	6	11	月	期末テスト	7	10	水	保護者会(~16日)
4	17	水	NRT(社・理)	5	16	木	尿検査②	6	12	水	激励会 参観日	7	11	木	全校道徳
4	18	木	全国学力・学習状況調査 PTA役員会	5	17	金	ウォークラリー	6	18	火	下越陸上大会(~19日)	7	12	金	漢字検定
4	19	金	部活動正式入部	5	20	月	内科検診	6	20	木	芸術鑑賞	7	13	土	県大会(~15日)
4	20	土	PTA総会 授業参観	5	23	木	生徒総会	6	22	土	保護者CAP研修	7	17	水	大会報告会
4	23	火	心臓検診(1年生)	5	24	金	体育文化後援会三役会	6	28	金	下越総体2日目	7	22	月	生徒会フェス
4	24	水	3年生 修学旅行(~26日)	5	25	土	市内大会(~26日)	6	29	土	下越総体3日目	7	24	水	体育祭結団式
4	24	水	1・2年生 家庭確認(~26日)	5	31	金	生徒朝会 英語検定 体文理事会	5	30	木	尿検査②	7	25	木	終業式
												7	26	金	夏季休業期間 (~8月26日まで)